

広報

しいば

2007
No.642

4
APRIL

春光を受け輝くヤマザクラ
(尾平)

「いのちかがやく森林文明郷、かてゝりの里椎葉」を目指して
新年度予算がまとまりました

平成19年度 施政方針

椎葉村長 椎葉晃充

平成19年度の村政運営に対する基本方針並びに主要な施策について所信の一端を申し上げ、村民の皆様に一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

私は3期目の村長の重責を担わせていただいておりますが、とりわけ、農山村を取り巻く情勢は大きく変貌しつつある中で、また本村が平成15年度に自立の道を選択した中で、常にそのことを念頭におきながら、村民が誇りと生き甲斐をもって、安心して暮らせる「いのちかがやく森林文明郷、かてゝりの里椎葉」を基本理念に諸施策を進めてきたところです。今日まで、村政全般にわたって概ねその成果をおさめ、進展を見つつありますことは、村議会をはじめ村民の皆様のご理解とご協力の賜物と

深く感謝申し上げます次第です。

また、平成16年、17年と大型台風襲来に伴う大災害も、国、県等の支援を受けながら、また村民のご協力を得ながら着実に復旧しつつあり、平成19年度も早期完全復旧に向けて全力で取り組んでいきたいと思っております。

さて、平成19年度の我が国の「経済見通しと経済財政運営の基本態度」によれば、政府は「成長なくして日本の未来なし」また「成長なくして財政再建なし」の理念の下、成長力の強化を図りつつ、車の両輪である行財政改革を断行することとしております。

そうした中で平成19年度の地方財政は、地方財政計画の規模の抑制に努めて平成18年度に引き続き大幅な財政不足の状況にありま

す。地方財政の借入金残高は、平成19年度末には199兆円に達すると見込まれ、今後その償還負担が高水準で続くことに加えて、社会保障関係経費の自然増も見込まれるところであり、将来の財政運営が圧迫されることが強く懸念されています。地方公共団体においては、地方分権の時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立するため、徹底した行政改革を推進すると共に、歳出の徹底した見直しによる抑制と重点化を進め、また歳入面でも自主財源については積極的な確保を講じるなど効率的で持続可能な財政への転換を図ることが講じられております。

平成19年度国の予算編成においては、一般会計予算の規模は、82兆9,088億円（前年度比

4.0%増）で、政策的経費である一般歳出は46兆9,784億円（前年度比1.3%増）となっております。また、平成19年度の地方財政計画では、地方交付税が4.4%の減、交付税削減を補う臨時財政対策債については9.5%の減、さらに、平成19年度の地方債計画では、地方債総額は10.3%の減となるなど、依然として著しく厳しい状況になります。

このような状況の中で、本村の財政運営に当たっては、税収の確保、受益者負担の適正化、国、県補助制度事業の導入など財源の確保に努める一方、これまで以上に徹底した行財政改革を推進するとともに、必要な部分については、見直しを行うことにより、厳しい財政状況に対処していかなければなりません。

また、厳しい財政事情とはいえ、





「第4次椎葉村長期総合計画」に基づく諸政策を推進し、社会情勢の変化に伴う新たな行政需要に的確に対応していく必要があります。このため、平成19年度当初予算編成にあたっては、さらに行財政改革を強力に推進しながら、村民が安全で安心して暮らせる生活環境整備など、住民サービスの向上を図ることを前提とし、生産基盤の整備や交通、通信網の整備拡充、医療、福祉の充実や教育文化、商工観光振興等の諸施策を推進することとしました。既存事務事業はもとより、特に新規事業については、事業の必要性、緊急性等を点検し、その施策を厳選しながら、村民の視点に立った予算措置を講じたところです。

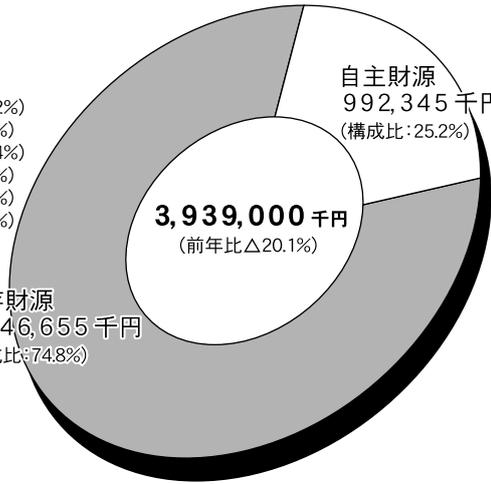
その結果、一般会計の予算規模は39億3千9百万円、前年度と比較いたしますと9億9千万円、20・1%の減となる緊縮型予算となりました。その大きな要因としては、災害復旧費に伴うところの減であります。

一般会計 39億3千9百万円

歳入

地方譲与税	121,976 (△15.2%)
地方交付税	1,960,000 (△4.9%)
国庫支出金	89,979 (△89.4%)
県支出金	477,349 (△9.2%)
村債	225,900 (△0.9%)
その他	71,451 (+2.4%)

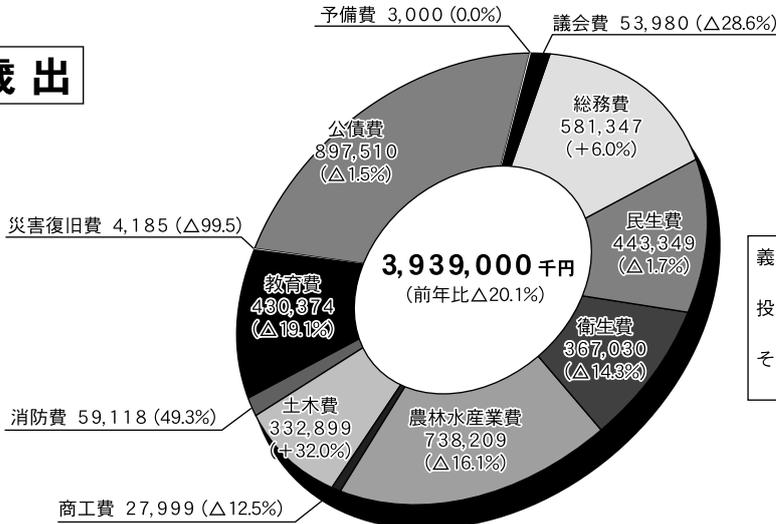
依存財源
2,946,655千円
(構成比:74.8%)



※()は増減率

村税	405,909 (+3.5%)
分担金及び負担金	2,724 (△27.4)
使用料及び手数料	51,716 (△8.4%)
財産収入	27,354 (+9.5%)
寄付金	1 (△99.8%)
繰入金	279,730 (+3.1%)
繰越金	40,000 (0.0%)
諸収入	184,911 (△28.1)

歳出



義務的経費(人件費、公債費など)	1,803,591千円(△5.4%)
投資的経費(建設・災害復旧費)	699,778千円(△53.4%)
その他経費(物件費、補助費など)	1,435,631千円(△5.7%)

(単位:千円)

〈特別会計予算〉

■国民健康保険特別会計	4億1千712万4千円(+6.3%)
■老人保健特別会計	4億4千497万9千円(+4.2%)
■簡易水道特別会計	4千671万3千円(△0.5%)
■病院事業特別会計	4億7千348万3千円(△9.7%)
■電気事業特別会計	4千032万9千円(△23.3%)
■介護保険事業特別会計	2億9千947万4千円(△14.9%)

村民一人あたりの予算
116万円
(一般会計・人口3,398人)

■情報通信基盤及び公共交通網の整備

・「サポーターシステム」による広報公聴の充実、行政組織と事務の改善、効率的財政運営の確立の施策を実施します。

・「宮崎情報ハイウェイ21」等を利用した行政情報・緊急情報などの地域化に対応した「総合情報通信システム」を構築します。

・公共交通網の整備について、村営バス7路線は効率化を図りながら引き続き運行。宮崎交通に委託する上椎葉〜諸塚間は今年度中に見直しを検討します。

■福祉保健の推進

・保健事業については「健康しいば21計画」をもとに、各公民館を中心として地域の特性を生かしながら村民の総合的な健康づくりを進めます。また、各検診等の受診率の向上に努めるとともに、介護予防事業に必要な65歳以上の健診対策を図り、疾病の予防を重視した保健体制の確立や村病院を核とした地域医療の充実により、生涯にわたって健康に暮らしていただける「健康長寿の村」づくりを進めます。

・高齢者福祉については、本村の高齢化率が今年2月に35%を超えたことから、昨年度からスタートした第3期「椎葉村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」をもとに対策を図ります。また、高齢者がますます元気に暮らし、地域社会の中で生きがいにあふれて充実した生活が送れるよう、シルバー人材センターを核に総合的に支援します。

・介護保険事業では地域包括支援センターを設置し、介護予防事業による支援策の実施に努めるとともに各分野と連携して必要なサービスの充実、向上を図ります。

・障害者福祉については、昨年見直された「障害者福祉計画」により引き続き自立支援と社会参加の促進を図り、また「障害者自立支援法」に基づき家庭や地域で自立した生活が維持できるよう努めます。

・児童福祉については、「次世代育成支援対策地域行動計画」の各施策を引き続き着実に実施し、さらに少子化対策、児童館・保育所の保育体制の強化に努めます。また、子育て支援施設事業の推進など安心して子どもを産み育てられるよう総合的な施策を推進し、子どもたちが健やかに成長できる社会環境の整備に努めます。

■環境の保全

・環境問題については、ごみの減量、リサイクルの推進を進め「循環型社会」を目指します。現在、日向東臼杵南部広域連合で火葬場、ごみ処理施設、一般廃棄物最終処分場の設置について共同事業の取り組みを行っています。クリーンセンターについては中継施設としてごみの収集や持込受入を今まで同様に行います。

・合併浄化槽については、本県の3大河川の源を発する地に住む者として、河川汚濁防止に努め、水質保全を図るため今年度も国、県の事業を導入し合

併処理浄化槽設置を推進します。

■産業の振興

・本村の基幹産業である農林業の振興のため、地域の特性を活用した作物栽培と技術力の向上、所得の安定対策の確立に向けた農林業振興大会を開催し、農林家の意識向上に努めます。

・農業については、これまでの取り組みの成果や課題を踏まえ、さらに地の利を活かした花きや野菜等の園芸、和牛子牛の産地づくりなど、所得向上につながる農業の振興を目指します。また、そのためにも生産効率の高い土地基盤整備や生活環境整備を進めるとともに認定農業者の担い手や後継者の育成を図り、生産基盤の整備を積極的に推進します。

・JAと協力して、生産農家の育成や生産者と消費者の相互交流を目的に設置された八菜館の充実と地産地消を具現化するために、都市部にアンテナショップを設置し、椎葉の産物の販売促進を図ります。

・畜産については、飼育頭数の増加と肉質の高い和牛の産地づくりを目指す制度事業を今後も継続させながら、実質増頭、増産につながる新たな事業も導入し、低コスト化や環境に配慮しつつ、増頭や優良牛の生産に努め、畜産農家の経営の安定を図ります。

・林業については、これまで進めてきた生産基盤の整備や担い手対策、各制度事業を引き続き進めながら災害に強い森林整備を計画的に行います。

主な事業の紹介

・財産管理事業	49,214千円
・電算管理	6,425千円
・情報化対策	4,612千円
・コミュニティ助成	5,000千円
・椎葉平家まつり	22,000千円
・地籍調査	29,754千円
・村営バス運行	43,598千円
・戸籍電算化システム導入	19,838千円
・介護予防生活支援	9,653千円
・高齢者住宅改造成	6,300千円
・養護老人ホーム措置	7,129千円
・地域生活支援	7,153千円
・身体障害者住宅改造成	3,000千円
・施設サービス介護給付支援費	57,332千円
・児童手当支給	23,780千円
・すこやか出生祝金	6,000千円
・健康診査等委託	29,497千円
・合併処理浄化槽設置整備	8,568千円
・ごみ焼却施設運営、塵芥処理費	33,472千円
・し尿処理施設維持管理	53,127千円
・中山間地域直接支払	44,000千円
・「みやぎの花」ブランド産地育成対策	3,050千円

- ・ 椎茸を中心とする特用林産物は、生産流通振興対策事業等を活用しながら生産基盤の整備を行い、生産者の労力省力化と生産コスト削減を図り、生産拡大への意欲向上に努めます。また出荷については今年度は共選出荷を推進し、販売単価の上昇に努めます。

- ・ 林道網の整備については、林業振興にとって重要な生産基盤であり、地域の基幹道路としての産業振興に大きな役割を担うことから効率的な森林整備を目指し、開設舗装事業を継続して行います。また「ひむか神話街道」についても広域観光、産業振興、さらに国道の迂回路としても重要な路線であり、今年度も県営による曲線改良を計画します。

- ・ 治山事業については、林地、溪流の災害による被害は規模も大きく、まだまだ危険な箇所が多くあり、今年度県単事業の新しい取り組みとして「集落保全流木等撤去緊急対策事業」を計画しています。これは風倒木、河川へ堆積した流木を撤去する事業で、土石流や鉄砲水による山地被害を防止することにより大きな効果が期待できます。

- ・ 道路網の整備については、産業、経済、観光の振興にとっても重要であるので、幹線道路での県道は早期整備と新たな改良工区の要望を関係機関に働きかけます。また村道は改良舗装の整備を計画し、特に松尾地区の村道畑線については、災害により別ルートで認定しましたが、今年度この区間の舗装を実施し、通行の安全確保を図ります。

- ・ 災害復旧については一部今年も施工しますが、早期復旧に努め、維持工事も限られた財源の中で、緊急性、優先順位を考慮しながら取り組み、生活道路としての機能向上を図ります。

■商工観光

- ・ 商業については、災害復興をPRしながら観光施設の整備や本村の恵まれた資源を最大限に生かし、周辺市町村とも連携を図りながら、交流人口の増加を図ると共に商工会を中心に経営指導やサービスの向上に努めます。

- ・ 観光の振興と特産品の開発は、多様化する消費者志向の中で消費者のニーズに対応しながら、本村の観光資源を生かしたグリーンツーリズムを進めます。また、各地域の民俗芸能や地域資源を生かした各種イベントの支援を行い、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。さらに観光産業に連携不可欠な農林業家と旅館民宿等が相互に協力しあい、新たな雇用創出や地産地消を促進します。

■防災体制の整備

- ・ 2年連続の台風災害の教訓を生かしながら防災体制の充実を図り、被害防止と安全な生活環境を形成していくために、災害危険地における治山事業などの防災工事の推進、計画的な林地保全、災害危険地の調査、周知、警戒避難態勢の確立、地域住民防災意識の向上を図ります。

- ・ 公民館や消防団と連携し、自主防災

- 組織の役割等を広く周知し、各地区での防災訓練等も実施しながら、災害に備えての体制づくりに取り組み、さらに衛星携帯電話の整備拡充により各地区の情報通信網の整備を充実させます。
- ・ 今年度は村内の主な地区に雨量計を設置し、常に情報を把握し、台風時等の避難勧告の発令基準の一助とします。

■教育文化の振興

- ・ 椎葉村の子どもたちが未来に夢と希望を抱きながら変化の激しい時代の中、たくましく生きぬく力を育むことを目的に、学校が教育機関・団体等と連携し、保護者や地域の協力を得て、地域の活力を学校教育に導入したり、学校の教育力を地域に提供したりするなどの学社融合の取り組みを進めます。

- ・ 国際社会に対応する児童、生徒を育成するため、引き続き「青少年アジア友好の翼」を実施し、外国語指導助手による英語教育を推進します。

- ・ 教育環境の整備については年次計画で進め、安心して学べる環境を整えるため各小中学校の施設修繕を実施します。

- ・ 生涯学習については、村民の多様な学習要求や地域の生活課題を的確に把握し、学習意欲が高まるよう学習情報を提供し、心身共に調和のとれた人間の育成に努めます。

- ・ 文化財保存については、「十根川伝建地区」は貴重な文化財であるとともに、重要な観光資源ですので、大杉周辺の整備と併せて引き続き重点的に支援します。

・ 優良牛導入貸付金	15,000千円
・ 家畜排泄物管理利用推進対策	3,932千円
・ 和牛生産組合牛舎新築補助	5,332千円
・ 県単土地改良	10,450千円
・ 元気のいいふるさとづくり	34,270千円
・ 公有林整備	33,209千円
・ 国土保全造林	29,090千円
・ 森林整備地域活動支援交付金	65,760千円
・ しいたけ振興	5,944千円
・ 林道維持	11,144千円
・ 林道整備関係	139,285千円
・ ひむか神話街道快速適走行空間創出	10,000千円
・ 治山関係	22,522千円
・ 水産業振興	2,800千円
・ 商業振興	3,350千円
・ 各種まつり補助	6,450千円
・ 村道維持	60,636千円
・ 村道改良舗装	180,000千円
・ 急傾斜地崩壊対策	6,750千円
・ 住宅管理	12,219千円
・ 公営住宅新築	37,296千円
・ 木造住宅建築支援	4,000千円
・ 消防施設整備	20,500千円
・ 災害対策費	2,110千円
・ 防災行政無線電話	4,532千円
・ 小中学校管理費	17,992千円
・ 文化財保護	20,000千円
・ 人材育成基金運営	3,852千円
・ 体育施設費	12,026千円
・ 災害復旧事業	4,185千円

村議会議員の5氏が

表彰される

甲斐了英氏(上 福良)
 甲斐美義氏(上 椎葉下3)
 松岡政光氏(上 椎葉中2)
 右田重人氏(本 郷)
 下田康士氏(岩屋戸上)



このほど本村議会議員の5氏が表彰され、村議場で伝達式が行われました。長年にわたり地方自治振興の発展に寄与したとして全国町村議長会表彰を甲斐了英氏が、県町村議長会特別表彰を甲斐美義氏、松岡政光氏が、同一表彰を右田重人氏、下田康士氏がそれぞれ功労者として表彰されました。

水源の森林を大切に守ろう！

「ふれあい交流

水源の森林づくり」

植樹祭

3月18日、桑弓野地区にある村有林で「ふれあい交流水源の森林づくり」植樹祭が行われました。これは村林業部会とプロジェクトH(ハニー)推進協議会が主催。関係者のほか村内外から約170人が参加しました。

植樹した苗木は、九州電力(株)日向電力所が寄贈したミツバチが好む花を咲かせる広葉樹(ヤマザクラ・イチイガシ・ケヤキ)2500本。参加者は上椎葉ダム湖に隣接する1ヘクタールの見晴らしのよい場所に、それぞれスコップや鋤(くわ)などを使って植樹。その後、弁当を食べたり大声コンテストを行ったりして、交流を深めました。今後は、村の大切な財産として水源かん養や国土保全機能など公益的な役割を果たす森となるよう、大切に守られていきます。

INTERVIEW —植樹祭に参加して—

尾向小みどりの少年団団長

尾前翔平君(尾向小6年)

急斜面だったけど、日頃、祖母と山を歩いているのでうまく植樹することができました。今回の植樹は卒業記念となり、これからの成長が楽しみです。

九州電力(株)日向電力所

中園 聡 所長

九州電力では100万本の植樹を計画しています。今回は社員やその家族40人と共に参加しました。今後も耳川流域の発展のために多方面で協力していきます。



音ヶ瀬橋・音ヶ瀬トンネルが待望の完成！

国道265号下椎葉工区全線開通

3月28日、鹿野遊・仲塔地区と本村中心部を結ぶ国道265号、下椎葉工区（L113800m）が音ヶ瀬橋と音ヶ瀬トンネルの完成により全線開通しました。同日、下椎葉の音ヶ瀬橋で行われた開通式では、初めての来村となる本県の東国原英夫知事を迎え、村民や関係者約150人が出席。神事やテープカットの後、椎葉今朝徳さん（追手納）、那須貞行さん（内ノ八重）の3世代の家族を先頭に渡り初めを行い、完成を喜び合いました。また、村開発センターで行われた祝賀会では、椎葉晃充村長が「災害に強い素晴らしい道路が完成した。阿蘇や高千穂を訪れる観光客の流入に期待しながら、受け入れる取り組みにも力を入れていきたい」とあいさつ。さらに東国原知事が「均衡ある発展には中山間地がもっと元気になるらないといけない。椎葉村の良さを全国にPRしていく」と祝辞を贈りました。



▲村民の出迎えに笑顔と握手で応える東国原英夫知事。

▼祝賀会の祝宴では十根川神楽と尾八重ひえつき節保存会が出演。



▼それぞれ3世代で渡り初めを行った椎葉今朝徳さん、那須貞行さんの家族。



▼村長や県知事らによるテープカットで全線開通。



椎葉晃充
村長の



3月の動き

- 1日 庁議（役場）
広域連合議会（日向市）
- 2日 県町村会定期総会（宮崎市）
- 5日 県北広域首長知事要望
（宮崎市）
- 7日 3月村議会定例会（～9日）
- 16日 中学校卒業式（椎葉中）
建設関係補助金交付式（役場）
- 18日 ふれあい交流水源の森林づくり植樹祭（桑弓野）
- 25日 北川町閉町式（北川町）
- 26日 県建設推進機構理事会、県市町村振興協会（宮崎市）
- 27日 県社協理事会（宮崎市）
- 28日 音ヶ瀬トンネル・音ヶ瀬橋開通式（下椎葉）
- 29日 県後期高齢者医療設立準備委員会（宮崎市）
県緑化推進機構理事会（宮崎市）
- 30日 退職者離任式（役場）



▲下椎葉工区開通祝賀会で県知事に椎葉産椎茸を贈呈（28日）

3月定例議会における課設置条例の一部改正に伴い、企画観光課が「総務課」へ統合されました。業務内容はほとんど継続されますが、企画観光課で担っていた「むらおこし・農産加工部門」の業務が農林振興課へ移行されます。

なお、4月の人事異動や新しい行政組織については、本紙5月号で紹介いたします。



4月1日から
企画観光課が
総務課へ
統合されます

椎葉村スポーツ少年団 お別れ大会

3月17日、村総合運動公園を主会場に村スポーツ少年団のお別れ大会が開催されました。小学6年生にとっては最後の大会となり、退団式も行われました。大会結果については次のとおりです。



- ソフトボール競技

 - 優勝 尾向小ソフトボール
 - 準優勝 松尾イーグルス
 - 第3位 杉の子ファイターズ
 - 第4位 小崎小ソフトボール同好会（オープン参加）
- バレーボール競技

 - 優勝 椎小フレンズクラブ
 - 準優勝 松尾少女バレー
- 剣道競技

 - 優勝 椎葉小少年剣道A
 - 準優勝 椎葉小少年剣道B
 - 第3位 小崎小少年剣道
 - 第4位 尾向小剣道
- ・1年生の部

 - 優勝 尾前萌々花（椎葉小）
- ・2年生の部

 - 優勝 那須 滯佳（小崎小）
 - 第3位 那須 香子（椎葉小）
- ・3年生の部

 - 優勝 尾前 篤了（椎葉小）
 - 準優勝 那須 杏理（小崎小）
 - 第3位 右田 樹（小崎小）
- ・4年生の部

 - 優勝 椎葉 駿輔（椎葉小）
 - 準優勝 長友 沙樹（椎葉小）
 - 第3位 尾前 正樹（尾向小）
- ・5年生の部

 - 優勝 椎山晋之介（椎葉小）
 - 準優勝 椎葉 章和（小崎小）
 - 第3位 尾前ちはる（尾向小）
- ・6年生の部

 - 優勝 中瀬 大士（小崎小）
 - 準優勝 那須 俊（椎葉小）
 - 第3位 椎葉 康平（椎葉小）
- ・7年生の部

 - 優勝 黒木 大希（小崎小）

はぐくむ

⑥

椎葉村小中学校長会

小中連携推進事業

昨今、全国的に児童・生徒の「学力」「規範意識」「体力」の低下の問題が指摘されています。これらの問題を受けて県教育委員会は、平成17年度から平成19年度まで「明日の宮崎を担う子どもたちを育む戦略プロジェクト」をスタートさせ、小中連携推進事業を進めてきました。

本村では現在、椎葉中、椎葉小、鹿野遊小、尾向小、不土野小、小



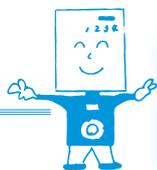
▲中学校数学教諭による小学6年算数科授業

崎小、大河内小の7校が推進拠点校として、松尾中、松尾小が推進協力校として取り組んでいます。この取組は、小・中学校9年間を見通して、「基礎学力」「基本的な生活習慣」「基礎体力」等の確実な定着を目指して行われている事業です。具体的には、小・中学校合同の研修会を開き各学校が取り組む共通実践の内容を決めたり、中学校の先生が小学校で授業を行ったりしています。3年計画の本年度は、2年間の成果と課題をもとに更に充実した教育活動を展開する計画になっております。

地域と共に子育てを

教育は、学校を中心とした教育から地域・家庭・学校が一体となった教育へと変化してきております。子どもの教育について地域・家庭・学校が一緒になって考え、それぞれの立場でできることを行い、すべての大人が子どもの教育に責任をもつという流れです。

本年度も椎葉村校長会は、村報の紙面をお借りして、村内の学校教育についてご紹介していきたいと考えております。ご意見等ございましたら、各学校宛てにお寄せください。



広報しいば・やまびこ通信 モニター協議会だより



梅尾から発信!

ドキュメンタリー映画「寒川」

2月11日、旧梅尾小体育館においてドキュメンタリー映画「寒川」が上映されました。その日は約200人(地区住民の約4倍!)の方々が鑑賞に訪れ熱気に包まれた時間を過ごしました。農山村集落の過疎化、高齢化、窮乏化が進み共同生活、共同作業ができなくなり、そこに住む人々がいなくなり山が荒れ河川の氾濫等につながり、広域的に荒廃が進行している事に気づかされます。故郷があった、そこで生活していく事の意味・・・私たちの地区でも現在抱えている課題が共通しています。

当日わざわざ遠くから鑑賞に訪れた方々も梅尾で観る事で、この「寒川」からのメッセージを受け止めていただけたものと思います。上映していただき本当に良かったと思います。意義深い1日でした。(梅尾地区モニター委員 黒木美代子)



鹿野遊地区の環境美化向上を目指して

鹿野遊公民館では、このほど環境美化の一環としてゴミや空き缶を捨てないよう地区内に看板を設置したり、講習会を開いたりしました。鹿野遊小体育館では各家庭から1人ずつ参加して、クリーンセンター職員からシステムの説明を受け、ゴミの分別方法の講習を受けました。このような研修は今回で2回目ですが、皆真剣にリサイクルや埋め立てゴミ、燃えるゴミを各班に別れて分別の体験をしました。

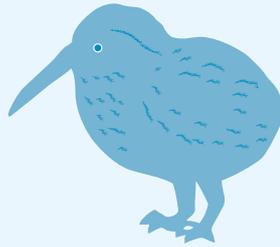
そして、同職員の講話では今でも燃えるゴミの中にカセットコンロのガスボンベを入れたままゴミを出す人がいると聞きました。また家庭ではゴミを絶対焼かないようにと指導を受け、改めてみんなで今後の自然環境を考えた美化活動に取り組むことを決意しました。

(鹿野遊地区モニター委員 川野育子)





Kiaora



■椎葉村外国語指導助手

Anna Dwyer

アナ ドウワヤー
(ニュージーランド出身)

Graduation at Junior High school

Last Thursday night I had the pleasure of attending Shiiba Chugakkou's dormitory graduation dinner. This was a very happy and sad experience.

In New Zealand, graduation is not until high school and we have no graduation ceremony as such. Instead, we have a prize giving for all the students that have achieved excellence in particular fields. This would generally be held at night in front of parents and staff. Someone of significance would then present prizes on stage. It's certainly not formal nor is it an emotion filled farewell like it is here. It's a happy cheerful experience.

The dormitory graduation dinner was certainly an understandably sad one for both 3rd graders who are leaving their village and security of school and home and the students they have been sharing their rooms with. For me it was a very moving experience and it touches my heart to think how these children leave behind so much when they leave here so young. I felt a part of something so special in the lives of the children about to go on their journeys out there in the world and I wish them good luck with their new challenges and good fortune for their futures. It's certainly one thing to move up to high school but another to leave your home and family for somewhere further away.

The next day, wishing I could be in two places at the same time, I rushed between both Chugakko's graduation ceremonies. I wasn't quite prepared for the enormity of the heartfelt emotion I encountered.

I will never forget you.



中学校の卒業

先週の木曜日の夜、喜ばしいことに椎葉中学校寮の退舎式に出席させていただきました。それはとても幸せでそして悲しい経験でした。ニュージーランドでは、卒業というもの高校生までなく卒業式というようなものはしたことがありませんでした。そのかわり、特定の分野における優秀な成績を成し遂げた生徒すべてに賞が与えられました。これは、大体夜に両親とスタッフの前で行われました。重要な人がステージで賞を贈呈します。このようにまったく堅苦しいものではなく、感情を満たす別れでもありません。それは幸せで素敵な経験です。寮の退舎式は、やはり卒業して椎葉を離れる3年生や学校の関係者、保護者そして共に過ごしてきた寮生にとってもとても悲しいことでした。

私にとってそれは大変心を動かされる経験でしたし、どれほどの子どもたちがたくさんのものを後に残すのか考え、ここを去るとき子どもたちがまだ若いということを考えるとわたしの心を打ちました。

子どもたちの一生の中で、世界へこれから進出する旅へ出発することはとても特別なものの一部だと感じましたし、彼らの新しい挑戦のうえに幸運がありますように。そして幸運が彼らの未来にありますように。1つ確かなことは、彼らが高校に進学するという。変わることは、家を離れ家族とも離れてどこか遠くに行ってしまうことです。

次の日、私は違う場所で同時に開催された2つの中学校の卒業式に出かけだったので、急いで両方を行き来してどちらも出席を果たすことができました。そして、予想していたよりずっと深い感銘を受けました。私は皆さんのことを決して忘れないでしょう。

和訳：黒木睦美さん（梶尾出身）

椎葉の民話

91



「長者の娘も求婚うて

みにゃ分かん(後編)」

語り手 那須英一さん

(水越)

昭和5年4月1日生まれ

鴻池の娘は、喜八が教えてくれた化粧物屋敷に泊まることにした。明かりを点けて、化粧物屋敷の広間に憩った(1)が、夜中過ぎるころ、評判通りのことが起こった。正面の門から山吹色の着物を着た三人連れが入ってきた。また、次に東門から白い着物を着た三人連れが次に入ってきた。それから、西の門から黒い着物を着た三人連れが入ってきた。最後に裏の門の方から綺麗な女が入ってきた。十人揃った。山吹色の着物を着た一人が、「今日はお客も来ちよるよつだ。じゃが、いつもの通り始めようか」。そして、歌を歌つやら、踊るやら、大騒ぎになった。

しばらく経って「こらで一憩いしようか」ちて言つて十人の者共は、床の間の前に座った。そこで鴻池の娘は「最初に正面の門から入ってきた者は、何者じゃ?」ちて尋ねた。すると、山吹色の着物を着た一人が、「私たちは正面の門の門柱の横に埋もれておる大判・小判の壺じゃ。誰か私たちを掘上げて使つてくる人の来るのを

待つちよつた」。鴻池の娘は「そりゃあ明日から私が掘り上げて、大切に使つてやるから、もう明日の晩から、化けて出てはならんぞ」ちて言つた。そして今度は「東門から入ってきた白い着物を着た者は、何者じゃ?」ちて尋ねた。すると、白い着物を着た一人が「私たちは東門の門柱の横に埋められておる白銀の壺じゃ。誰か私たちを掘り上げて使つてくる人の来るのを待つちよつた」。鴻池の娘は「そりゃあ明日から私が掘り上げて大切に使つてやるから、もう化けて出てはならんぞ」ちて言つた。そして今度は、西の門の方から入ってきた黒い着物を着た一人が「私たちは西の門の門柱の横に埋められておる銭の壺じゃ。誰か私たちを掘上げて使つてくる人の来るのを待つちよつた」。そこで鴻池の娘は、「そりゃあ明日から私が掘り上げて大切に使つてやるから、もうから化けて出てはならんぞ」ちて言つた。そして最後に「では、裏の門から入ってきた女はいったい何者じゃ?ちて尋ねた。すると女は「私は、無実の罪で井戸の中に切り込まれた女中じゃ。私の骨をば井戸から拾い上げての申してくれる人があれば、もう、明日の晩からは、化けては出ません」ちて答えた。

鴻池の娘は、「しつかりと分かった。早速、明日になったら井戸から骨をば拾い上げて申つてやる。皆の者、そのように話は決まつた。早々に立ち去れ!」ちて言つた。すると十人連れは、「有り難や。有り難や」ちて口々に言いながら、そこから消えて去つた。夜が明けて鴻池の娘は、喜八の所に行た。そして「喜八どん、この村の人を全部、ここに集めてくれんか」と言つた。喜八は村の人を皆集めた。鴻池の娘の言うことにや、「私は大阪から利兵衛どんの嫁御にもらわられて来た女子じゃ。昨晚から、化粧物屋敷に泊まつておつたが、あの化粧物屋敷を、私に譲つてくだされ。無料とは言わん、このよつなこともあろうかと、百両用意して来ておる。このお金を皆で分けて、あの化粧物屋敷は私に譲つてくだされ」。村人は皆喜んで承知してくれた。

それから、娘は利兵衛に、「あの屋敷をば綺麗に掃除をせにやあいかん。半年前に死に絶えた屋敷じゃから、掃除もなかなかやおういかん(2)。私と力を併せて掃除しよう」。そしてまず最初に金蔵を綺麗に掃除して、それから、正面の門柱の元から大判・小判の壺を掘り上げて、金蔵に納めた。次に、東門の門柱の元から白銀の壺を掘り上げて、金蔵に納めた。それから今度は、西の門の門柱の元から銭の壺を掘り上げて、金蔵に納めた。そして最後の壺を井戸の中から女中の骨をば拾い上げて、丁寧に葬つてやつた。屋敷の掃除が終わつて鴻池の娘は、大阪に戻り、改めて嫁入り道具を船に積んで、利兵衛のもとに嫁いで来て、めでたく結婚式を上げて、幸せに一生を過ごした「長者の娘も求婚うてみにゃ分かん」といふお話。何事も遠慮しておつたら、いかに、ちていふことじゃ。

(聞き手 西南学院大 山中耕作)

(1) 憩つた=休んだ

(2) やおういかん=たやすくはいかぬ

話型=世間話
発端句=昔、ある貧乏な村に
結末句=いつことじゃ

(解説) 世間話として、どんなことでも交渉してみないことには、結果は分からないものだ、だから勇気を出し、知恵を絞つて当たつてみよ、というのが結末句とおりの話の狙いである。が、話の運びは実におもしろく、後半部など不気味でさえあるが、子供たちに教えようとする内容も大変多い。

いったい鴻池は、今も続く江戸時代の大坂の大財閥。その娘を、嫁に貰つたなど容易なことではない。まして田舎者の利兵衛では、いかに勤勉でも、提灯と釣鐘。でも、挑戦してみなければ結果は分からないのだが、ただ条件がある。物事は、何事であっても誠実な友人がいなくては成就しない、ということであろう。また財閥の娘なら美人であればそれでよい、というだけではすまない。大財閥の娘なら、他家に嫁しても主婦として、内証をしつかり仕切つていくだけの器量が必要だ、ということである。そのためには、これくらいの気の強さ、心の強さ、また例え身分が低くても事情が分かれば丁寧に申つてやるような慈悲心が必要だ、ということ。使用人に無慈悲を働けば、家は死に絶えるしかない。さらにお金である。埋めたままでは利子もつかない。まさに死に金である。お金は生かして使うもの。生かして動かす力量も必要。それができなければ、いかに長者であっても、家は衰退する。ということをも教えているのである。椎葉は僻村かもしれないが、大変な教育村だった、と改めて思つた。

(西南学院大名譽教授 山中耕作)

カメラさんぽ



▲卒業式を行った「花の人サークル」の受講生。

長寿学園「花の人サークル」が卒業式

3月7日、村長寿学園「花の人サークル」が卒業式を行いました。同サークルの受講生は村内在住の高齢者34人。生きがいづくりを目的に、昨年4月から交流を図りながら菊づくりや料理教室など様々な講座を開いてきました。さらに今年2月の生涯学習フェスティバルでは、取り組んできた成果として生き生きとした表情で花笠音頭を披露し、大会を盛り上げました。

卒業式では、池田逸夫教育長から一人ひとりに卒業証書が手渡された後、代表して那須利光さん（大久保）が「今までの生活では得られないような知識と経験を持つことができ、老後の生きがいづくりにつながる。今後は地域に還元できるような積極的に活動していきたい。」と感謝の言葉を述べました。



▲教育研究論文で表彰された皆さん。

教育研究論文表彰式

3月8日、村開発センターで平成18年度教育研究論文の表彰式が行われました。これは村教育委員会が主催したもので、村内小中学校の教職員を対象に学校教育に関するもので、それぞれ研究した内容を論文として募集。村教育委員会や学校長会が審査しました。

結果、大野綾子教諭（鹿野遊小）の「読書の喜びを味わい、自ら進んで読書活動に取り組む児童の育成」が村長賞を受賞。そのほか、村議会議長賞に倉永真奈美教諭（松尾中）、教育委員長賞に長嶺園子教諭（小崎小）、教育長賞に大野貴博教諭（椎葉小）、優秀賞に藤堂孝浩教諭（椎葉中）と永山寿郎教諭（同）が選ばれました。



▲寄付金を届けた宮崎学園高校吹奏楽部の方々。

宮崎学園高校吹奏楽部が寄付金

3月9日、役場村長室を宮崎学園高校（宮崎市）吹奏楽部が訪れ、寄付金を贈りました。訪れたのは、同部顧問の佐藤一哉教諭と部員で今年3月に同校を卒業した大場元騎さん、佐藤さやかさんの3人。このほど開催したチャリティコンサートで集めた募金を、椎葉晃充村長へ直接手渡しました。

同部は、昨年3年ぶりに開催された「椎葉平家まつり2006」でも、郷土芸能パレードに参加したり、コンサートを開いたり本村の一大イベントに華を添えていただきました。同部の今後益々の活躍に期待しながら、また今年の平家まつりにもぜひ参加していただきたいものです。



▲乳幼児とふれあう中学3年生。

思春期ふれあい体験教室

3月9日、すこやか館で思春期ふれあい体験学習が行われました。同学習には、村内2中学校の3年生39人と乳幼児、保護者14組18人が参加。保健師と保護者の指導で絵本の読み聞かせやリズム遊びを一緒にしながら乳幼児とふれあいました。最初は戸惑い気味の生徒も時間が経つとボール遊びや抱っこなどをして子どもたちを喜ばせていました。

また、食生活改善推進員が準備した手づくりの食事ですぐに食育について学んだほか、子育て・女性健康支援センター「宮崎か^ほちやっ子くらぶ」の講話で思春期における「性」についても考えました。ほとんどの生徒が卒業と同時に親元を離れますが、今回の体験で命の大切さを学び、さらに思春期における健全な性的知識を深めました。

春夏秋冬 まるごと椎葉

尾向青年会が神楽を披露

3月11日、串間市文化会館で「串間人的春祭（クシマニアンフェスティバル）」が開催され、尾向青年会が椎葉神楽を披露しました。同イベントは串間市青年団が主催。会場に訪れたたくさんの市民を前に、太鼓演奏やマジックショーなど様々なプログラムが行われました。

尾向青年会は、同市青年団の出演依頼を快く承諾。神楽シーズンを終えていたにもかかわらず、この日のために仕事や地域行事への参加など多忙な中、練習を重ねてきました。本番では舞い手はもちろんのこと、太鼓や笛もすべて青年会員で務めるなどして勇壮な舞を披露。また、訪れたお客さんには事前に準備した御幣を配り、イベントを盛り上げました。



▲神楽を披露し、椎葉村をPRした尾向青年会。

合戦原地区の農地防災施設が完成

3月15日、合戦原集会所で平成9年から進められきた県営中山間地域総合農地防災事業の竣工式が行われました。この事業は農業が盛んで、広大な農地を持つ合戦原地区において、農地保全につながる施設や用水路を総事業費4億8千万円をかけて整備。今後、農地防災と地域活性化につながる施設として大きな期待が寄せられています。

竣工式には地域住民や事業主体の東白杵農林振興局、本村関係者など40人が出席。神事や祈念碑の除幕式、工事に貢献した業者に感謝状を贈るなどして完成を喜び合いました。



▲雨が降る中、竣工式では村長直筆による記念碑が披露されました。

小中学校で卒業式

3月16日に村内の各中学校で、同23日に各小学校で卒業式が行われました。中学校のほとんどの卒業生が親元を離れて、村外での新しい生活が始まり、また小学校の卒業児童は部活動や英語の授業に加えて、寄宿舎生活などそれぞれ様々な環境で3年間学ばなければなりません。

第52回を迎えた松尾中卒業式では、卒業生6人が在校生や先生、保護者一人ひとりに感謝の言葉と今後の目標などを答辞として贈りました。椎葉で培ったたくましい心と体とともに、それぞれが抱く夢や希望に向かって全員が進学のため村を離れるとのこと。今後の活躍と成功を祈りたいものです。



▲全員で心を込めて答辞を贈る卒業生（松尾中）。

椎葉の春を彩る岩ツツジ

3月下旬、本村の山々や溪谷沿いに岩ツツジの花が咲きました。険しい岩肌に可憐で美しい花を咲かせることで知られる岩ツツジ。一足早い春の訪れを告げる村の風物詩として村民に親しまれています。

群生地や国道265号、仲塔溪谷沿いの道路では設けられた休憩所やカメラ撮影スポットに、県内外から多くの方が訪れました。苔むした岩壁と新緑に映える鮮やかなピンク色の花。開花から1～2週間ほどで散ってしまいましたが、3月下旬なのに気温20度を超える陽気が続くなど、本格的な春到来となりました。



▲仲塔溪谷沿いの鮮やかな岩ツツジ。

感じた場合、または電話による問い合わせに不審な点を感じた場合は、即答せずに、市区町村、都道府県、または経済産業省にご連絡ください。

■問い合わせ先

村総務課 広報統計係
(☎67-3203)

成年後見登記に係る 証明書手数料額の変更(引下げ)について 法務省民事局

平成19年4月1日から、「登記手数料令等の一部を改正する政令」の施行に伴い、次のとおり成年後見登記の証明手数料額が引き下げられます。

- ①窓口又は郵送での交付請求(1通あたりの手数料額)
 - ・登記事項の証明書
1,000円(変更前)→800円(変更後)
 - ・登記されていないことの証明書
500円(変更前)→400円(変更後)
 - ②オンラインによる交付請求(1通あたりの手数料額)
- 【登記事項の証明】
- 紙の証明書
750円(変更前)→490円(変更後)
- 電子的な証明書
700円(変更前)→440円(変更後)
- 【登記されていないことの証明書】
- 紙の証明書
450円(変更前)→330円(変更後)
- 電子的な証明書
400円(変更前)→280円(変更後)

■問い合わせ先

法務省民事局民事第一課
(☎03-3580-4111)
東京法務局民事行政部後見登録課
(☎03-5213-1234)
法務省HP
(<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji95.html>)
宮崎地方法務局日向支局
(☎0982-52-2944)
役場 税務住民課住民係
(☎67-3205)

募 集

宮崎県育英資金奨学生募集

宮崎県育英資金の奨学生を次のとおり募集します。未来のためにぜひご活用ください。

■申込資格

- ①大学(短期大学含む)、高等専門学校または、高等学校(中等教育学校後期課程含む)に在学し、主として生計を維持する人が県内に住んでいること。
- ②経済的理由により就学が困難な人

■申込・問い合わせ先

募集要項及び申請書類を4月現在に在学している学校の窓口で配布します。学校の指定する期日(おおむね5月初旬)までに各窓口にお申し込みください。

詳しくは、村教育委員会
(☎67-2850)まで。

花・人・みどりの「水源地域活性化大賞コンテスト」

このコンテストは、ダム水源地域活性化のための主体的な活動のうち、継続的に実行され、その功績が顕著な活動主体を表彰するものです。水源地域を元気にする活動をされている団体や個人の方はぜひご応募ください。

■対象となる活動

- ①水源地域における人材育成活動
- ②水源地域における山林保全活動
- ③ダム周辺における環境保全活動
- ④水源地域での環境学習・広報・情報発信等の活動
- ⑤水源地での上下流交流活動
- ⑥その他水源地域活性化への自立的・持続的な発展に寄与する活動

■活動主体

- ①流域住民団体・ボランティア団体等

- ②企業
- ③個人
- ④小中学校等

■表彰

最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定し、賞状と副賞(賞金)を授与

■応募方法

所定の応募様式に必要事項を記入し、活動写真等を添付してメール・郵送等で提出

■応募締切

平成19年5月31日(木)

■申込・問い合わせ先

〒102-0083
東京都千代田区麹町2-14-2
(財)ダム水源地環境整備センター内
「森と湖に親しむ旬間」全国実行委員会事務局
(☎03-3263-9051)
(HP:<http://www.wer.or.jp/morimizu>)

九州大学講座「九州山地の森を知ろう」の参加者募集

九州大学宮崎演習林では、一般市民の方に九州山地の森林や樹木、森林動物などの生態的特徴や、森と水の係わりに関する知識を深めてもらうことを目的として、次のとおり公開講座を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

■講座名

「九州山地の森を知ろう」

■期日

平成19年5月26日(土)～27日(日)

■会場

九州大学宮崎演習林
(椎葉村大河内)

■対象者

高校生以上

■募集人員

20人

■必要経費

1人につき宿泊料・食事代・保険料等含めて4千円程度

■募集締切

平成19年5月10日(木)

■申込・問い合わせ先

九州大学宮崎演習林
(☎0983-38-1116)

お知らせ

4月

- 椎葉村ホームページ
<http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp>
- 椎葉村メールアドレス
shbwebm@vill.shiiba.miyazaki.jp

村内の動き ●3月1日現在

男	1,696人 (-4)
女	1,702人 (0)
計	3,398人 (-4)
世帯数	1,278戸 (+1)

お知らせ

4月22日(日)は「椎葉村議会議員選挙」の投票日です!

4月22日(日)は椎葉村議会議員選挙(定数10)の投票日となっています。本村のよりよい未来のためにも、ぜひあなたの貴重な一票を投じてください。

■問い合わせ先

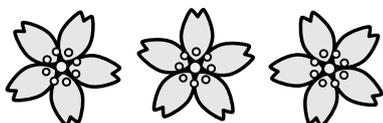
村選挙管理委員会
(☎67-3201)

4月の納税について

4月は、軽自動車税(全期)と固定資産税(1期)の納税月です。期限内(5月1日)までに納付していただきますようお願いいたします。また、平成18年度分の各種税金やその他公共料金を納め忘れていた方がおりましたら、至急納付していただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

村税務住民課
(☎67-3205)



行政相談の開催について

行政相談が次のとおり行われます。行政に関することならどんなことでもけっこうですので、気軽にご相談ください。

■日時

5月8日(火) 10時~15時

■場所

椎葉村高齢者センター

平成18年度情報公開状況について

■請求件数 0件

■公開件数 0件

5月は自動車税を納める月です

自動車税は、4月1日現在、宮崎運輸支局に登録されている自動車の所有者に課税されます。納税義務者の方は、必ず5月31日(木)までに、お近くの金融機関、県税事務所または自動車税事務所で自動車税を納めてください。

もし、5月中旬までに納税通知書が届かないときは、自動車税事務所またはお近くの県税事務所までご連絡ください。なお、障害者の方のために使用する自動車については、一定の要件に該当する場合、5月末までに申請すれば自動車税が減免されることがあります。

■問い合わせ先

日向県税事務所
(☎0982-52-4148)

「税務職員を装った振り込め詐欺」にご注意ください!

最近、税務職員を装い、現金自動預け払い機(ATM)を操作させ振込みを行わせる「振り込め詐欺」による被害が発生しております。税務職員が納税者の皆様に電話で

お問い合わせする場合は、提出していただいた申告書等を基に、その内容をご本人に確認することを原則としています。

税務署や国税局では、
①還付金受取のために金融機関等の現金自動預け払い機(ATM)の操作を求めたり、②国税の納税のために金融機関の口座を指定して振込みを求めることはありません。
また、③フリーダイヤルの電話は設置しておりません。

還付金受取のために現金自動預け払い機(ATM)の操作を求められるなどの不審な電話があった場合には、指示された電話番号(フリーダイヤル)に連絡することなく、最寄りの税務署や税務相談室にお問い合わせください。

■問い合わせ先

延岡税務署
(☎0982-32-3301)

商業統計調査にご協力ください!

商業統計調査は、我が国の商業の実態を明らかにするため、平成19年6月1日現在で全国の商業(卸売業・小売業)を営むすべての事業所(店舗)を対象に実施します。

この統計調査は、統計法に基づく指定統計調査として行われ、調査票の記入・提出の義務(申告義務)があります。調査票に記入していただいた内容は、統計作成の目的以外(例えば、徴税の資料など)に使用することはありません。また、統計調査員などこの調査に従事する者が職務上知りえた情報を他に漏らすことは、法律上で固く禁じられております。

調査員が、皆様の事業所(店舗)にうかがって調査票の記入をお願いし、後日記入していただいた調査票を回収にうかがいます。なお、統計調査員は身分を証明する「調査員証」を携帯しています。調査員証の提示がないなど不審な点を

春のイベント情報

銘水の郷釣り大会

新緑に囲まれた椎葉の川で釣りを楽しんでみませんか。エノハ・マスをたくさん放流しますので、ぜひご家族連れで参加してください。

■とき 平成19年5月上旬

■受付 午前7時30分～午前8時

■ところ

耳川(上椎葉バイパス下付近の河川)

■参加料 一律500円

■問い合わせ先

銘水の郷づくり推進協議会事務局

(☎67-3203)

椎葉神楽と郷土芸能の夕べ

村内の神楽保存会や民謡会、和太鼓チームが競演します。ゴールデンウィークの5月3～5日は毎晩行われますので、村民をはじめ観光に訪れた方などお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

■とき

平成19年5月3(木)～5日(土)

午後8時～9時

■ところ 椎葉民俗芸能博物館4F

■入場料

大人500円・子ども300円

■問い合わせ先

村総務課 商工観光係

(☎67-3203)

第28回扇山山開き

新緑とシヤクナゲの花を楽しみながら、登山をしてみませんか。

■とき 平成19年5月13日(日)

■ところ 扇山松木登山道入口

■内容

・受付 午前9時30分～

・登山開始 午前10時30分～

・山頂祭 正午

(記念品贈呈・宝探し)

・解散 午後3時

■問い合わせ先

村総務課 商工観光係

(☎67-3203)



戸籍だより(2月分)

出生 おめでとー



椎葉 希ちゃん

(向山日当中) 友和・美幸さん



椎葉 蘭ちゃん

(佐礼住宅) 勝利・里恵子さん



甲斐 雫ちゃん

(向山日添) 喜徳・美穂さん

死亡

ご冥福をお祈りいたします

甲斐 忠様 (小河内) 九十一歳

右田ミツエ様 (矢立) 九十三歳

香典返し

故人の遺志を尊重し活用させていただきます

故 那須リツエ様 (奥村上)

故 那須 元市様 (間柏原)

故 黒木シノブ様 (中山下)

故 甲斐 忠様 (小河内)

故 右田ミツエ様 (矢立)

5月の主な行事とお知らせ

1日	総合健診説明会(すこやか館)
3日	3種混合予防接種(村立病院) 椎葉神楽と民謡の夕べ (～5日 椎葉民俗芸能博物館4F)
8日	MR予防接種(村立病院)
9日	村食生活改善推進員総会(すこやか館)
10日	胃ガン検診(11・15～18日) 銘水の郷釣り大会(上椎葉バイパス下付近の耳川) 区長・区長代理・組合長総会(村開発センター)
上旬	県道上椎葉湯前線整備促進期成同盟会総会(村開発センター)
12日	村PTA総会(村開発センター)
13日	扇山山開き(松木登山道入り口)
14日	大腸ガン検便結果説明会(大河内)
17日	1歳6カ月・3歳児健診(すこやか館)
19日	スポーツ少年団春季大会(村体育館・総合グラウンド)
22日	乳ガン・子宮ガン・骨密度検診(～23日 すこやか館)
24日	2種混合予防接種(村立病院) 乳ガン・結核精密検診(すこやか館)
29日	乳児健診、BCG・ポリオ予防接種(すこやか館)
31日	結核精密検診(大河内)

しいば俳句会

選評・角 光雄先生（あじろ主宰）

《特選》

雛飾る前に掌にのせ見る清し

中瀬 汀

〔評〕お雛様を函から出して飾るのだが、ほんの少しの時間、掌上にのせて眺めるといふ。作者と雛様の間には声にまでならない会話が交わされる。作者は、いつに変わらぬ雛を、清々しいお姿ですねと讃えているのかも。

木の芽晴唄くちずさむ山仕事

那須 瑞穂

〔評〕山の木々の芽吹く頃、山の仕事も多くなる。寒さきびしい時と違って仕事はよく捗る。となると、唄も出よう。歌いつがれた仕事歌か民謡か、カラオケ練習か。ともあれ、健康的な一句。

急ぐことなき峠道風光る

小丸川河童

〔評〕今どき峠道を歩いて越えることは少なくなったが、わたしの幼少時代は、隣村の親戚まで峠を越えて行かされたものだ。この句も回想句か、少々ハイキング気分で行っている。「風光る」でわかる。

《入選》

日迎への日の近まりて蓬摘む

黒木八重子

ボランテア研修終えて春灯

森山ヤス子

行く春や競りの子牛へ涙ぐむ

小八重知津子

花吹雪水面すべりてゆく早さ

山本 和枝

沈丁花人待ち顔に庭の隅

山本 和枝

夫の忌の近づき来る梅の花

山本 和枝

犬の子も家族のひとり雨水の日

山本 和枝

春めきて家の広さも馳走なり

山本 和枝

春一番 椎葉 湖面の水煙

山本 和枝

陽光へすつく立ちて土筆かな

山本 和枝

一雨ごとにふんわり太る草木の芽

山本 和枝

背戸の山春めいてきてやわらかし

山本 和枝

踏青やうれしくなりて小走りに

山本 和枝

俳句募集!! なたでも投句できます。毎月10日までに気軽に総務課へ送ってください。(郵送・FAX可)

BOOK CORNER



「The Very Busy Spider」は、エリック・カール（Eric Carle）の著書で、優れた絵本として知られています。このカラフルな絵本には、クモの糸が描かれていて、また、各ページにはクモの糸が描き彫りにされていて、指先でたたくなどして楽しむことができます。

「The Very Busy Spider」
エリック カール (Philomel Books)



小さな種がとん、土の中の小さな種がとんととん。種が落ちて、一粒の種が落ち、芽が出て、葉が伸び、葉が出て、大きな大きなひまわりの花が咲くまでを力いっぱい描いた、生命力あふれる絵本。

「ひまわり」
和歌山静子 (福音館書店)



一度でいいから両手で我が子を抱きしめたかった。18歳の春事故で右腕をすっかり失い自殺まで図る。「でも生きてよかった」。今は人生講話の講師として子どもたちに明るく語るその体験を綴る。

「うちの母ちゃん手が無っちゃが!」
山内文代 (ジーオー企画出版)



身近な素材で作る、小さなお裁縫の本。糸と針と小さな布と、ボタンとリボンとレースと。いつもの材料があれば、バッグも子供服もアップキーンも、何倍にも楽しくなります。

「ちくちく針しごと」
伊藤まさこ (集英社)

ここで紹介した本は、村開発センター図書室で貸し出しています。(教育委員会 ☎67-2850)

今月の表紙 Cover Message



3月下旬、椎葉の山々でヤマザクラが咲き始めました。暖冬と言われていましたがサクラの開花は例年並み。春の光を受け、よりいっそう鮮やかさを増したサクラ色は、山の緑と青い空に映えて本格的な春の訪れを感じさせてくれました。

編集後記

Editor's Comment

▼4月1日付けで、建設課へ異動することになりました。広報担当最後となる今号が60号目。担当して間もなく生まれた息子も現在5歳と、月日の早さを感じます。▼カメラのファインダー越しに見てきた椎葉の激動の5年間と多くの村民の表情。仕事とは言え、素晴らしい経験をさせていただきました。取材や原稿協力でお世話になった方々、さらに本紙愛読者の皆様、本当にありがとうございます。新担当者共々、今後も広報しいばをよろしくお願いいたします。(正)

新担当者紹介

次回より担当することになりました那須力男です。身近な話題とたくさん写真で、椎葉の情報を伝えていきたいと思っています。前任者同様、よろしくお願いたします。

物産センター「平家本陣」の商品紹介

おすすめの一品

「梅ジャム・梅干ジャム」



■生産者
むらおこしグループ「夢織会」

■価格と内容

・梅ジャム 1個 (220g) 500円

平家まつり2006特産品コンテストの最優秀賞を受賞した商品です。村内産の梅から作られたジャムで、完熟梅独特の豊かな風味と手作りによるほどよい甘さが大好評。お菓子やパン、ヨーグルトにもとても相性が良く、水を加えて梅ジュースにするのもおすすめです。

・梅干ジャム 1個 (200g) 500円

同じく特産品コンテストで優秀賞を受賞。梅干風味プラスチックに広がる甘さが意外にもパンにぴったり。梅干が苦手な方もさっぱりして美味しいと評判です。

■問い合わせ・販売元

椎葉村物産センター「平家本陣」

(TEL) 0982-67-3139

(FAX) 0982-67-3144



ニレ科ニレ属。4月は椎葉の山里も新緑で華やぎ、とくに標高の高い山々は落葉樹林が広く覆うので美しく彩られます。この時期標高500m以上の溪流や谷間に沿った湿潤な明るい土地に、目立たない赤褐色の花が4月中旬過ぎの芽吹きに先立って咲き、淡緑色の翼を有した果実を枝先にびっしり着けた中高木が見られます。これがハルニレで、春に花が咲き実がなるニレの木の意です。葉は縁に鈍鋸歯がある楕円形で互生し、葉質は厚くやや表面に光沢があります。花は雌雄同株で種子は風で飛散して繁殖します。北方系の樹木で、日本と朝鮮半島、中国東北部、東シベリアに産し、南限は鹿児島県大隅山地になります。北海道では直径1m以上の巨木に達し、湿地帯には大群落を作ります。札幌の平地には巨樹が多く、かつては湿地だったことが偲ばれ、その面影が北海道大学構内に残っています。材は家具や器具になります。

(九州大学宮崎演習林 内海 泰弘・井上 晋)



未来にはばだけ!



那須 ^{さきな} 咲菜 ちゃん (胡麻山)

平成17年5月4日生まれ
おとうさん：豊和さん
おかあさん：希美香さん

ひえつき節が大好きな咲菜ちゃん。音楽に合わせて嬉しそうに踊っています。これからたくさん食べ、たくさん遊び、心も体も大きくなりますように。



那須 ^{こみ} 心美 ちゃん (大久保)

平成17年4月25日生まれ
おとうさん：一樹さん
おかあさん：香保理さん

納豆とお父さんがとても大好きな心美ちゃん。お姉ちゃんと仲良く、すくすく大きくなあれ!

Face in April

甲斐 ^{たかまさ} 隆昌 さん

(24歳：上椎葉)

勤務先：甲斐写真館
趣味：写真・映画鑑賞

甲斐写真館を後継するために昨年4月に東京から帰ってきました。想像以上の忙しさに驚きながらも地域の方々の温かさに椎葉の良さを実感しています。まだまだ未熟ですが、先代の藤美さんの時のように愛される「村の写真館」を目指して頑張っていきますので、よろしくをお願いします。

